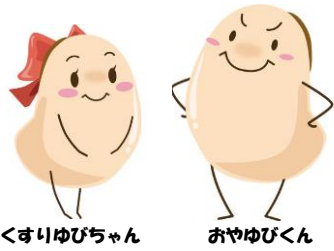


実施日：7/16(土)限定



ゆび 指はふやせる！？

広島県高等学校教育研究会 理科部会
広島地区化学研究推進委員 菅 恭平

あなたは、歯医者さんで歯の治療をするとき、歯の型をとったことがありますか？

そのとき歯医者さんが使った、ピンク色（または、みどり色）のねんどのような物（歯科用印象材）は、何でできているのでしょうか。

実は、コンブやワカメに含まれるぬるぬるの物質でできています。

今回は、歯科用印象材を利用して、自分の指のレプリカをつくってみましょう！

ざいりょう 【材料】

紙コップ、歯科用印象材（商品名 アルジクリア）、ナイロン袋、
割り箸、硬石こう、メートルガラス、純水、計測用天秤

じっけん 【実験】

1 指の型をとる

- ① 紙コップに歯科用印象材を大さじ2杯入れる。
- ② ①の紙コップに純水をコップの上から1～1.5cmまで入れて素早く玉にならないようにかき混ぜる（のんびりしていると歯科用印象材が固まるので注意しましょう）。
- ③ ②の紙コップに指を底まで入れ、指を少し持ち上げて底から離れたところで、しばらく動かさないでおく。
- ④ 4～5分後、指を持ち上げてみて、紙コップが付いて上がるとできあがり。

2 指のレプリカをつくる

- ⑤ 別の紙コップに硬石こう25gをとり、水9mL（メートルガラスで）を加えて割り箸でかき混ぜる。
- ⑥ ⑤の紙コップの中身を④のコップの中にゆっくり入れる。（できる限り空気が入らないようにする）。
- ⑦ ⑥の紙コップを机の上で軽くとんとたたいて中に入っている空気を抜く。
- ⑧ 硬石こうが固まるまでしばらく待つ。（30分～1時間）
- ⑨ 硬石こうが固まったらゆっくりと上から取る。

